

ふるさとツアー

ふるさと長沼会事務局長 八重樫 謙三

我が「ふるさと長沼会」は1年おきにふるさとツアーを実施している。今年はその年にあたり2月の役員会で日程を7月4日～6日と決定する。4月上旬、会員に案内状を送付する。

事務局としていつも心配なのは、何名の方が参加して下さるかということです。(15名以下なら中止と決めている)。5月20日締切日、ぎりぎり16名の参加がありツアーは成立、一安心である。

我々のツアーに合わせて「札幌ふるさと長沼会」が東京会との交流を図るために、パ

クルフとゴルフコンペを企画して頂いている。

新千歳空港には町役場がバスで出迎えに来て下さり、全員で役場を表敬訪問、町長初め町の方から長沼町の現状などについてお話を伺う。こしはお米を始め農産物の生育は順調とのこと。

その後札幌会のパークゴルフに合流して楽しむも、ほとんどの人が初めての経験で力の差は歴然、致し方ないのかなと納得する。夜は長沼町、商工会、札幌ふるさと会との総勢約50名の参加で地元名産のジンギスカン



オホーツク紋別空港と私

東京湧別会会長 尾崎 响



「オホーツク紋別空港」オホーツク海のはほぼ中央部に位置する可愛いプチ空港ですが、残念なことにあまり知られていません。

チューリップが咲き、芝桜が広がる春には、大勢の観光客でにぎわいます。また、流水がオホーツク海を埋めつくす厳寒期も多くの人

が訪れます。オホーツク紋別空港は、遠軽、紋別地区の空の玄関口として、生活に密着した空港なのです。

朝10時丁度に羽田空港を飛び立ったジェット機は、午後12時45分に着陸しま



オホーツク紋別空港

す。そして、13時25分、紋別空港を後にした機

体は一度、オホーツク海に出て進路を取りま

す。めったに見ることは出来ませんが晴れた日の海岸線は、遙か知床半島まで続きます。眼下に広がるオホーツクブルーは吸い込まれるほど神秘的です。ANA 846便は大雪山系を通過して津軽海峡に抜け、仙台・松島上空から太平洋沿いを南下します。全日空のキヤビンアテンダントの対応も親切で、1時間45分の空の旅は至福の時間です。

7年前、故郷の中湧別に合気道の道場を開設しました。月に1度、合気道の指導のため全日空を利用する私にとって、オホーツク紋別空港はかけがいのない空港です。ただ一つ、年間を通して搭乗客が安定していないのです。羽田とオホーツク海を結ぶ、1日1便の直行便です。皆さんご声援下さい。

で懇親会を盛大に行い、親睦を図る。宿泊は町の経営する長沼温泉に全員で泊まる。

翌日はゴルフ組と観光組に分かれて別行動。ゴルフは町が経営するマオイゴルフリゾートで、長沼町と札幌ふるさと会の対抗戦、私達(4名)は長沼チームに入り、和気あいあいと楽しんだ。

観光組は町が用意してくれたバスで積丹半島に美味しいウニを食べに行き、途中小樽市内も見学した。

ふるさととはいつ行っても雄大で、空気のきれいな心休まる場所です。東京近郊に暮らしている私達にとっては心のオアシスとして時々訪ねたいものです。ツアー参加の皆さんは大いに満足して帰京しました。

私達ふ

るさと会

は会員と

の親睦は

勿論です

が、ふる

さととの

交流、そ

して親睦

も大切な

役割では

ないかと

考える。



長沼町役場にて

稚内駅と複合施設「キタカラ」

東京稚内会会長 小坂 輝雄



私たちのふるさと稚内は、ここ数年、「賑わい溢れる街づくり」を掲げて、公共施設の整備が相次いでいます。稚内駅周辺、国内・国際フェリーター

ミナル、北防波堤ドーム広場など、地元に住む人たちの利便性と、将来を見据えた「稚内」の再生計画が実現

しつつあります。子供の頃の稚内は、沿岸や北洋漁業の街でした。漁獲高日本

一を誇った港

は、昭和52年から始まった200海里規制によつて、大型底曳漁船が減船して大打撃を受け、街から活気が失せてしまいました。以来、街の再生を目標に、恵まれた自然を活かして、水産業や観光、そして太陽光や風力のエネルギー事業に取り組んでいます。

最盛期の人口は5万8千人でしたが、今は3万8千人に減っています。でも、住んでいる人たちにとって、稚内は暮らし易く、何よりも近所の人情が温かいんです。昔と変わらない温もり・絆が、この街を支えています。

2013年に一度、首都圏在住の人たちが「ふるさと訪問ツアー」で、稚内を訪れています。毎回、地元の人たちは、「お帰りなさい」と私たちを温かく歓迎してくれます。懐かしむ建物は少なくなりましたが、私たちはたくましく成長する稚内から元気をもらい、ふるさとを想う心を一層深めています。



稚内駅と複合施設「キタカラ」